

じねんじょ20年 寄り添うとは？

「じねんじょを育む会」
会長 池内 京子

私もいよいよ本気で終活を考える歳になり、誰にも平等にその時が訪れると分かってはいるのですが、そんな思いで改めて「育む会だより」を読み返すと、じねんじょが開設されてからずっと、テーマは「親亡き後」だったことに気がきます。もとより、じねんじょは保護者の皆さんのそんな要望に応じて開設された場所でした。その課題は刻々と迫り、今、思うこと。いつ、その日が訪れても選択した道を信じ、家族で心穏やかな日々を送ること(だろうと?)だと。しかし、私は当事者ではなく支援の立場です。保護者の皆さんの本音はどうであったのでしょうか？



先日、毎日新聞で「寄り添うのは難しい」という心療内科医の海原純子さんのコラムを読んで、さらに考えさせられました。

『支援を受けることに、迷惑、不快、上から目線、頻繁なメールも辛い、分かったように言って欲しくない、教訓的な励ましは単なる自己満足』等の拒否反応があったり、「事故・災害・しょうがい、自分でなくて良かった」と、相手の不幸・不運を見て自分の幸いを実感する人もいます』と。残念ながら、それは、人の自然な感情なのかもしれません。では、どうすればよいのでしょうか？

海原さんは、多くの方は、相手がして欲しいことではなく自分がしたいことを優先しがちだが、自分が傷みや辛さを経験した時に、どのように接して欲しかったかを思い出すことが一番。その時、心を温めてくれた思いが「寄り添い」と結ばれています。「心が温まる思い」、それは人それぞれです。この人にはこのように、あの人にはこのようにと、聴(きき)分け、観(み)分け、「聴く耳」や「観る眼」があればいいのですが、とてもとても難しいことです。

私がしょうがい児教育に携わった始めに、下関養護学校・初代校長の藤井昭夫先生は「見えないものを観る、聞こえないものを聴く姿勢」を教えて下さいました。普通教育でも、著名な斎藤喜博先生は「見える眼を鍛える」ことの大切さを説いておられます。それは「心を澄まして対象の芯(真)を観る」ということではないかと感じていました。しょうがいがあってもなくても、教育(支援)の本質を突いた言葉だと、この年になっても思い出します。

私の心が錆びないようにと、じねんじょの皆さんは、常に私の心を揺さぶってください。いつも傍に感じる皆さんの存在こそが、やはり、私の始点であり、終点なのでしょう。



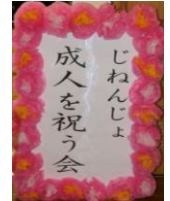
活動報告

◎「じねんじょを育む会」から以下の行事に助成しました。



成人を祝う会

令和4年10月27日に会場「生活介護サービス事業所だいち」にて開催されました。
令和4年度は、6名のメンバーさんが成人(二十歳)を迎えられました。



「成人 おめでとう ございます。」

「じねんじょを育む会」からは、成人として歩んでとの思いで印鑑を贈りました。(実印、銀行印などに活用)
ご家族よりメッセージで、「生まれてきてくれてありがとう！」の言葉に感無量になりました。
本人とお母さん、そしてメンバー(仲間たち)でアットホームな雰囲気の中でお祝いをしました。

「あなたの人生に、沢山の幸せな出会いがありますように祈っています。」



プログラム 10:45~11:45

- 10:45 ① お祝いの言葉
(センター長、育む会会長※祝辞 代読)
- 10:55 ② 記念品贈呈
- 11:10 ③ 新成人メンバーは親に花束贈呈
- 11:20 ④ ご家族よりメッセージ
- 11:30 ⑤ じねんじょメンバーみんなで送り出し
閉会
- 11:45 ⑥ 記念写真(成人メンバーのみ)

※開催する一週間前からは感染予防徹底期間として家庭や事業所(職員)においても、コロナ感染予防に努めました。新型コロナウイルスの感染の発症者もありませんでした。

じねんじょフェスティバル2022

《令和4年10月9日(日)開催》

コロナ禍の開催ではあったが、参加者に対して事前にご家族などに制限をして、密をさけるため小グループでの参加そして移動が出来るように、タイムキーパーが移動の誘導をしながら工夫をしての開催でした。
短い時間の参加ではありましたが、コロナ禍でなかなか保護者同士も顔を合わせることが少なくなり、このフェスティバルが久しぶりのコミュニケーションの機会となってよかったようです。



◇児童発達支援事業所「むくっこ」
へ絵本を寄贈



陶芸作品

○総会での書面表決のご協力ありがとうございました。4つ議案すべてにおいてご承認を頂きました。
内容につきましては、「社会福祉法人じねんじょ」ホームページ〔<https://www.jinenjo.or.jp/>〕に「育む会」掲載していますので閲覧下さい。
※「育む会」のページ (<http://www.jinenjo.or.jp/hagukumu.html>)

